

# 明るいニュース

一般社団法人  
日本善行会

〒100-0006  
東京都千代田区有楽町  
2-10-1 東京交通会館内  
TEL (03) 3212-6996  
FAX (03) 3212-6998  
URL: http://www.zenkoukai.or.jp  
メール: info@zenkoukai.or.jp

毎月1日発行  
編集発行人 相澤 克也

善行は、社会を  
照らすともしび。

## 令和四年度 秋季善行表彰 受賞者伝達式

### 【福島県支部】

福島県支部で  
伝達式開催

支部の秋季善行表彰の伝達式は十二月四日(日)、郡山市の「橘地域公民館」で開催しました。

伝達式には、受賞者七人と役員十一人が出席。日本善行会の勝野堅介会長からのメッセージ披露後、日本善行会の会員でもある品川萬里郡山市長から市議会開催中にもかかわらず

「らすぐ出席いただき、ご祝辞を賜りました。受賞者からは「思いがけない受賞に感謝します。善行会活動にも協力していきたいです」との心強い声をいただきました。今回も、伝達式終了後の「昼食懇親会」は、新型コロナウイルスの感染



写真①② 品川萬里郡山市長の挨拶

### 【福岡県福岡支部】

福岡県福岡支部の  
秋季善行表彰伝達式

支部の令和四年度秋季善行表彰伝達式を十二月十八日(日)大宰府市中央公民館で開催した。前日の大雪で積雪・路面の凍結・行方不明者捜索等が原因で、来賓・受賞者・会員の欠席等で混乱したが、開催直前に行方不明者が発見され、予定のとおり開催した。大機事務局長の司会で、

国旗に礼・黙祷の後、古屋啓二郎理事の開催の挨拶、桑野英則監事が支部長の挨拶文代読、続いて楠田太蔵大宰府市長、原田久美子市議会議長の祝辞の後、勝野堅介会長の祝電、渡辺美穂県議会議員のメッセージを披露。楠田市長から一人一人に表彰状と善行章が手渡された。古屋理事の閉会の挨拶で無事終了した。その後、広報課員の記念写真等撮影、出席者全員に一キロ入りの餅を贈呈した。なお、市の職員四名の方に表彰式・会場設営



### 【愛知県豊橋支部】

愛知県豊橋支部  
表彰伝達式の開催

等手伝つていただき、また、表彰伝達式にご協力いただいた勝野会長。事務局の皆様にご心からお礼申し上げます。

一月二十一日(土)豊橋市の高千穂会館にて開催され、今年度の秋季善行表彰受賞者の二名に表彰状と支部からの記念品が渡された。また、来賓に浅井由崇豊橋市長、根本幸典衆議院議員ら約三十人が出席した。



写真③ 前列右から4人目が品川郡山市長、5人目が山崎支部長

## 受賞者の 喜びの声

### ●●金 章●●

友情の輪ふたたび

神奈川県川崎市  
長尾みはる



この度、特別善行金章を賜り心から御礼申し上げます。活動の始まりは娘のガールスカウトへの入団で既に四十二年が経ちました。リーダーとして約

束とおきてのもとスカウトと共に活動する事の楽しさは、他団のリーダーの方や川崎市の姉妹都市のスカウト等との交流は有意義な経験でした。活動のテーマは自己開発、人との交わり、自然と共にを基本に自分で考え行動出来る女性へと育っています。令和二年、日本ガールスカウトは百周年を迎えました。

今コロナ禍で活動は思うようにできません。以前は集会の終わりに一つの輪になり、ソングを歌いながら手を握り回し、次回会う時までお元気でと祈り別れます。今は一日も早く友情の輪が作れるようにと願っています。いつもスカウトから元気をもらい、共に人に役立つ行動が出来るように活動して参ります。

### ●●春季表彰●●

土浦市国際交流協会

この度は、令和四年度春季善行表彰を賜り心より感謝申し上げます。当協会は、市民の国際

理解、国際化に向けた地域づくりを目的として、平成四年に発足し、設立三十周年を迎えました。種々の講



### ●●秋季表彰●●

宮城県大崎市  
大友 文司

この度は、令和四年度秋季善行表彰を賜り心より感謝申し上げます。私は白血病などの血液疾患の方々が一人でも多く骨髄移植のチャンスに巡り合えるように、約三十年、年間二百ヶ所で



### ●●秋季表彰●●

東京都練馬区  
猪股百合子



この度、令和四年度秋季善行表彰を賜り、ありがとうございます。民謡、三味線を始めて五年程過った頃、勉強に

の活動を行っています。今後、外国人と日本人との相互理解・地域の国際化の発展のために活動してまいります。

この度は、令和四年度秋季善行表彰を賜り心より感謝申し上げます。私は白血病などの血液疾患の方々が一人でも多く骨髄移植のチャンスに巡り合えるように、約三十年、年間二百ヶ所で骨髄バンクへの登録の呼びかけの活動を続けております。日本では新たに一年間に約一万人の白血病などの血液疾患の方が発病されております。一人でも多くの患者さんに、大きな希望となれるように、これからもこの度の受賞を励みに益々頑張つて参ります。

なるからと、師匠の計らいで、近くのデイサービス施設の施設で三味線を弾かせていただきました。十年の間、一緒に唄う利用者さんの元気な声、嬉しそうなお顔「楽しかったよ」。この全てをもっと多くの人に届けたい。これが慰問活動の始まりでした。

最後に必ず東京首頭、炭坑節で締めました。舞台のある施設では、その上で踊る人達もいました。アンコール等で踊り続ける事もありました。皆さんの笑顔、勇気ももらって、いつしか二十年以上が過ぎていました。

この度の受賞に感謝の気持ちを入れて今後活動してまいります。

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの助成金により運営されております。広く会員を募集しております。